

待機児童解消など全力

神奈川・大磯町議選 鈴木・中村氏訴え

20日告示(25日投

票)された神奈川県大磯町議選で、7期目をめざす日本共産党の鈴木京子(69)〓現〓、中村やすひろ(49)〓新〓の両候補が第一声をあげました。

鈴木候補は「持続可能な財政運営など町政のチェック機能を果たし、待機児童解消や特養ホーム整備に全力をあげる」と訴えました。

はたの君枝衆院比例南関東ブロック候補が応援に駆けつけ、鈴木

候補は6期24年間で国

会にも足を運び大磯駅のバリアフリー化や小中学校のエアコン設置などを実現したと紹介。「議案提出権のある2議席獲得で町政を前進させよう」と呼び



鈴木京子候補〓20日、神奈川県大磯町

かけました。

支持者は「朝5時で
も電話一本で駆けつけ



中村候補(中央)と、応援に駆け付けた、はたの氏(左)と岡村共栄県後援会代表委員(右)〓20日、神奈川県大磯町

てくれる。いてくれないと困る人です」と話しました。

中村候補の出発式には、近所の人など党派を超えた多くの人が応援に集まり、「面倒見がいい」「地域のために働いてくれる人が議会にいないとだめだ」と期待を寄せました。

中村候補は「町民のため、平和のために全力でがんばる」と決意を述べました。

はたの氏は「鈴木町議とともに住民の声を集め、川の堤防内の竹やぶ伐採を実現するなど、議員になる前から実績は抜群だ」と紹介し、2人そろって議会に送ってほしいと訴えました。